

領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>6. 数値線上の位置を小数で表す 正答率は77%で、よく理解されているが、最小目盛が1.01から1.02までの間の目盛の10等分であることに気づかない児童が見られる。</p>	<p>◦ 数直線などの目盛を読み取る場合には、最小目盛に着目させるようにしたい。</p>
<p>7. 数直線上の位置を分数で表す 正答率は72%で、小数で表す場合よりも正答率は低い。これは、小数をさらに分数に直す過程での誤りが原因と考えられる。</p>	<p>◦ 最小目盛に着目させることや、小数を分数に直せるように、指導しておくことが、大切である。</p>
<p>領域①（数と計算）について この領域の陥没点は、億単位の数と兆単位の数の比較と四捨五入によって概数を求めることの二つである。 億兆の命数法については、前学年で千の次の位に万を考え、万を用いて千万の位まで進めたことに着目させる。千万の次の位は新しい単位を決める必要があること、そして、それを決めれば、その千倍の位まではそれを用い、その次の位にはまた新しい単位が必要になることを理解させ億兆の単位を導入する。 概数については、四捨五入の方法を形式的に用いて概数を求めるだけでなく、概数を用いることによさとか必要性も具体例を通して十分に理解させるようにする。概数についての用語、表現の仕方などにも留意する。</p>	
領域・小問ごとの分析	対策の視点
<p>② 量と測定 1. 面積の概念 長方形と台形を組み合わせた図形の面積を方眼を利用して求める問題で、正答率は75%である。台形の部分の面積を求めることにつまずきが見られる。</p>	<p>◦ 面積を求める場合には、単位面積についての多面的な見方が出来るようにすること、等積変形の考えなどを加味した指導をすることが大切である。</p>
<p>2. 面積の単位・角の大きさ (1) 1 m^2は何cm^2かという問題であるが、正答率は37%で、大変低い。誤答は、100、1000などで、長さと同面積の量の違いが定</p>	<p>◦ (1)、(2)とも長さの単位から面積の単位が作りだされるという誘導単位の意味に気づかせるようにしたい。</p>